

## 鬼怒川洪水で何が起きたのか — きぬ医師会病院の7か月 —

平野 千秋 先生

きぬ医師会病院（小児生活習慣病予防外来）医師

平成28年5月31日（火）

18：30～20：30

筑波大学総合研究棟D 公開講義室（1F）

平成27年9月10・11日の関東東北豪雨により、茨城県常総市では鬼怒川堤防が決壊し市内の東半分ほどが浸水した。市内の南東に位置するきぬ医師会病院は、病院と敷地内の関連事業所および隣接するきぬ看護専門学校とともに、床上1m以上の浸水により機能停止に至った。病院は11日に入院患者全員を転送後、14日から日本赤十字テント仮設診療所で診療を再開し、外来診療棟、夜間休日急患センターを順次リニューアルオープンした。しかし入院受け入れは、いまだ1病棟が閉鎖中である。

市内では市役所を含めて多数の診療所、薬局、福祉施設も被災し、市内外の避難所に6千人超の市民が避難した。被災前後の最大の問題点は、情報の収集と伝達であった。復旧時には、公的な災害救助派遣以外にも多くの専門職種会や医療機関、さまざまな企業・団体そして外国人を含む市民ボランティアによる支援があった。復旧時の課題は、被災側と支援側の連携マッチングであった。

この機会に、病院に何が起きて職員がどのように対処したのか、映像や各種記録から振り返る。自然災害はいつでもどこでも誰にでも起こりうる。私たちの経験を、地域や勤務先そして家庭の防災を見直す一例として役立ててくださることを切に願い、復興への取り組みを報告する。

今回の勉強会では、きぬ医師会病院の平野千秋先生に「鬼怒川洪水で何が起きたのか」の演題で、お話していただく予定です。事前申し込みの必要はございません。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部の後援を受けています。この講演会に参加されると、日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医2単位と認定薬剤師1単位が取得できます。

日本医師会生涯教育講座 2単位 CC:7. 12 取得予定です。

またフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4（高齢者医学）の一部となっています。

連絡先：筑波大学医学医療系  
福祉医療学  
柳 久子

TEL&FAX：029-853-3496

# 筑波大学 総合研究棟D

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

お車でお越しの方はこちらの駐車場をご利用ください。  
当日のみ、当会のために解放されております。  
他の駐車場はご利用いただけませんのでご注意ください。



講演場所が分からない方は、「松見口」からお入りください。  
他の入り口からですと迷う場合があります。